2021 年 3 月 25 日更新

JSMM / UIAA / ICAR / ISMM
DIPLOMA IN MOUNTAIN MEDICINE

2021 年度

募 集 要 項

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、2021 年度の講習会および実技演習においても今後、日程変更や開催方法の変更および開催中止の可能性があります。ご了承いただければ幸いです。

— 主 催 —

一般社団法人　日本登山医学会
Japan Society of Mountain Medicine (JSMM)

— 後 援 —

公益社団法人　日本山岳・スポーツクライミング協会
独立行政法人　日本スポーツ振興センター　国立登山研修所

I. 概要

日本登山医学会の 2020-21 年 Diploma in Mountain Medicine（DiMM-JP）は、UIAA Medcom（国際山岳連盟医療部会）・ISMM（国際登山医学会）・ICAR（国際山岳救助委員会）の 2 年ごとの認証を受けています。山岳地帯で発生しうる疾病および外傷についての理論と対応実践について学び、山岳医学の臨床および研究を実践出来る医師および看護師および救急救命士の養成を目的として実施するプログラムです。

このプログラムを修了し検定に合格した受講生には、Diploma in Mountain Medicineを授与します。通常、このプログラムはエントリーから5年以内に修了することが義務づけられ、5年を超えた場合には受講済みであっても受講から5年を過ぎた項目については再履修を求めますが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う特例措置により、上記の5年の部分についてはそれぞれ6年といたします。詳細は11ページをご参照ください。

プログラムは、DiMM運営委員会またはUIAA/ISMM/ICARのレギュレーション改訂等によって改訂します。その場合、旧プログラムでエントリーした受講生には旧プログラムに沿って救済措置を適用します。

II. 対象

① 医師コース

日本登山医学会会員であって、初期臨床研修を修了している医師（臨床研修制度導入以前の卒業者は「医師免許を取得している医師」と読み換える）がエントリー可能です。２０２０年度から初期臨床研修医および医学生はエントリーできません。

② 看護師コース

日本登山医学会会員であって、看護師資格を有している方がエントリー可能です。受講内容は医師と同一のものです。２０２０年度から看護学生はエントリーできません。

③ 救急救命士コース

日本登山医学会会員であって、救急救命士資格を保有している方がエントリー可能です。受講内容は医師と同一のものです。２０２０年度から救急救命士学生はエントリーできません。

いずれの受講生においても、学術的に充分な準備を済ませて講習を受講する必要があります。登山経験の乏しい参加希望者は、事前に各種山岳団体や山岳ガイドなどによる登山技術講習や救助技術講習を受けておくことを推奨します。

III. プログラム概要（新型コロナウイルス感染症の状況により中止・延期・変更となる可能性があります）

［講習・検定番号・名称］	［時期・場所］	
A1. 日本登山医学会学術集会	2021/5/28～30	北海道大学学術交流館（札幌）
B1. 無雪期山岳医療理論（夏山座学）	2021/5/15～16	オンライン配信予定
C1. 夏山山岳技術基礎演習（夏山演習）	2021/6/19～20	国立登山研修所（立山）
B2. 山岳外傷学	2021/7/24～25	つくば
C2. 夏山登山技術検定（夏山検定）	2021/9/4～6	国立登山研修所（立山）
B3. 厳冬期山岳医療理論（冬山座学）	2021/10/30～31	神戸
C3. 冬山救助技術基礎演習（冬山演習）	2022/1/22～23	国立登山研修所（立山）
B4. 山岳医療理論（一般座学）	2022/未定	開催場所未定（東京予定）
C4. 登山技術検定（冬山検定）	2022/未定	赤岳鉱泉（八ヶ岳）

- 上記のうちA、B、Cのすべての講習、検定を修了する必要があります。合計~~121~~119時間です。
- Bの各講習終了後には事後課題が課される場合があります。課題が課された講習会では出席しただけでは受講済みとなりません。課題提出期限までに提出した場合のみ採点対象となり、採点結果で合否を判定します。
- Cでは検定中の実技が採点対象となります。合否連絡後の異議申し立ては各検定実施責任者を通して試験委員長に行うことができます。
- いずれの講習、検定も受講登録時点でのプログラム相当を適用します。

IV. 受講資格および受講登録手続き、受講登録料について

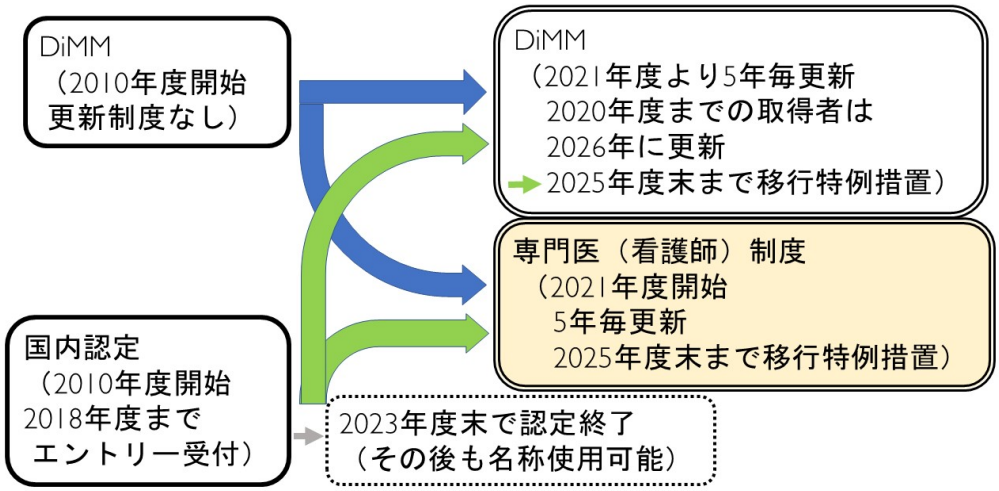
- 日本登山医学会会員であり、学会会費を滞納していないことが必要です。なお、入会手続きについては日本登山医学会のホームページをご覧下さい。
- http://www.jsmmed.org/dimmjpn_entry.html にアクセスし、ご自身の資格に合ったコースを選択して受講仮登録を行ってください。正式な受講登録には 10,000 円の登録料が必要となります。受講資格確認後に DiMM 運営委員会から送信されるメールに記載の銀行口座へお支払いください。
- 各講習は都度、募集要項をホームページに掲載するとともに、受講登録者にはメーリングリストでご案内いたします。各講習の募集要項に従って応募し、受講が承認された場合は、講習料等を納入してください。講習料の納入を確認した後に、受講者として確定します。なお、講習料には講習会場までの交通費、受講中の宿泊費、食費は含まれません。演習および検定における宿泊費および食費の支払い方法については受講承認後、担当者から連絡しますので指示に従ってください。
- C（演習及び検定）の受講については、山岳保険（冬山登山、岩登り、アイスクライミング、山スキー中の遭難・山岳事故にも適用可能なのも）に加入していなければなりません。また、C2 受講には C1 修了を、C4 受講には C2 合格および C3 修了をそれぞれ受講条件とします。

V. キャンセリルポリシーおよび受講制限

- 受講登録料については、納入後は返金できません。
- 各講習、検定の受講料は、主催者の都合による開催中止または受講制限のため受講を受け付けない場合以外、原則いかなる理由があっても返金しません。
- 会場の都合、および、山岳での実践、演習、検定においては安全上、人数、登山経験により受講を制限する場合があります。受講の可否は各講習の募集締め切り後、講習および検定責任者者から連絡します。

VI. 移行措置、国内認定山岳医・山岳看護師プログラムについて

- 日本登山医学会国内認定山岳医・山岳看護師プログラム（以下、国内認定山岳医・山岳看護師プログラム）への新規エントリーはすでに終了しています。今後、2023 年度までは国内認定山岳医・山岳看護師プログラムを継続しますが、2023 年度末で資格認定を終了します（2023 年度末までに認定要件を満たさない場合は認定されません）。かねてより新規に国内認定山岳医・山岳看護師の資格取得をお考えであった方は、DiMM プログラムないし、日本登山医学会専門医（看護師）制度をご検討ください。
- 既に国内認定山岳医・山岳看護師プログラムにエントリーし、一部履修を開始している受講生については、国内認定山岳医・山岳看護師プログラム（ただし 2023 年度で終了）の受講を継続するか、DiMM プログラムに移行ないし日本登山医学会専門医（看護師）制度への移行の選択肢があります（2025 年度末までの移行特例措置）。
- 国内認定山岳医・山岳看護師資格を取得している方は、2021 年度以降 5 年間設定される予定の特例措置を活用して、DiMM プログラムないし日本登山医学会専門医（看護師）制度のいずれかに移行されることをお勧めします（2025 年度末までの移行特例措置）。DiMM への移行に関しては夏山検定、冬山検定およびビーコン検定の再受講と DiMM 基準でのそれぞれの合格が必要となります。



VII. DiMM 資格認定について

- A1、B1～B4、C1～C4 の全ての講習、検定を受講、試験および検定に合格した後に、内容確認して DiMM 運営委員会が最終的に資格認定を行います。認定時期については現在調整中です。
- 資格認定後は Diploma in Mountain Medicine が付与されます。

VIII. DiMM 資格更新制度

- 国際的なレギュレーションの変更に伴い、DiMM 資格更新制度が導入されることとなりました。Diploma in Mountain Medicine 取得後 5 年以内に更新することが必要です。更新単位の認定は 2021 年 4 月からを予定しています。詳細は DiMM 資格更新制度案内の PDF をご参照ください。

IX. その他

- 受講登録者以外の日本登山医学会会員で、B（座学）の聴講を希望する場合は、ホームページへの募集要項掲載以後、DiMM 運営委員会（旧・認定山岳医委員会） dimm01@jsmmed.org へお問い合わせください。原則として、日本登山医学会会員以外の聴講はできません。

2021 年度プログラム

各講習、検定ごとに内容、日程が確定後メーリングリストでご案内するとともに、日本登山医学会ホームページ上（http://www.jsmmed.org）でお知らせします。下記は予定プログラムとしてご参照ください。

講習・検定名 開催地等	2019 DiMM Regulation (Minimum Time Requirement)	2021 DiMM 日本プログラ （DiMM-JP）	時間	累積履修 時間/基準
B1 夏山座学 5/15〜5/16 オンライン開催 12 時間	Altitude and its illnesses (8) *1	高山病の生理学/高山病総論	1	4 暫定 2
		高所における人類学	1	
		低酸素環境体験	2	
	Exercise physiology (1) *1	運動生理学	1	1
	Nutrition, fluid balance and exhaustion (1) *1	栄養・水分バランスと疲労	1	1
	Submersion and immersion in water (1) *1	水難	1	1
	Heat and solar radiation (1) *1	熱中症・脱水症・日焼け	1	1
	Stress management (1) *1	国内山岳遭難の実態と背景・問題点	1	2
		海外登山の実態・リスク・問題点	1	
	Ethics including sports and drug use (1) *4	スポーツと薬物使用・ドーピング	1	1
	Legal aspects (0.5) *1	登山における山岳保険、法律問題	1	1
A1 学術集会 5/29〜5/30 札幌 2 日間	Performing medical research (1) *1	医学研究の実行	6	6
C1 夏山演習 6/19〜6/20 登山研修所 （立山） 15 時間	Introduction to improvised rescue techniques (2) *1	救助技術総論	1	2
		セルフレスキュー・衝撃：理論	1	
	Altitude and its illnesses (8) *1	高度順応戦略	2	6
	Practical demonstration of improvised rescue techniques (4) *3	セルフレスキュー・衝撃：演習 ロープワーク演習	8	9
		即興の救助技術実践：演習	1	
	Organized rescue (4) *1*2	組織救助技術実践：演習	2	2
C2 夏山検定 9/4〜9/6 登山研修所 （立山） 23.5 時間	Navigation and survival techniques in hostile weather in the mountains (8) *2*3	ナビゲーション技術	8	8
	Information technology in the mountains (1) *2	山中の情報技術	1.5	1.5
	Personal first aid kit and mountaineering equipment (1) *1	生存技術・疲労	2	2
	Mountaineering techniques in summer and winter (24) *3	夏期登山技術・検定 沢登り	12	12
B2 山岳外傷学 7/24〜7/25 15 時間	Analgesia in the field (2) *1	疼痛対策・実践麻酔学	2	2
	Effects of pre-existing clinical conditions (4) *1	山中の医学：頭頚部疾患	1	1
	Practical traumatology	JPETC	5	12

	(8) *2	外傷総論	2	
		整形外科的疾患論	1	
		ワークショップ	4	
B3 冬山座学 10/30～10/31 神戸 10.5 時間	Hypothermia (4) *1*3	低体温症１：生理学	1	3
		低体温症２：病態と治療	1	
		低体温症３：事例検討	1	
	Frostbite (2) *1	凍傷：理論	1	1
	Altitude and its illnesses (8) *1	実践的山岳遭難事例検討	4	12
	International mountaineering organizations (0.5) *1	遠征登山	1.5	1.5
	Organized rescue (4) *1*2	ヘリコプターレスキュー	1	3
C3 冬山演習 22/1/22～1/23 登山研修所 （立山） 8 時間	Hypothermia (4) *1*3	低体温症：ワークショップ	1	4
	Frostbite (2) *1	凍傷：ワークショップ	1	2
	Avalanche risk assessment, companion search, and medical management of victims (4) *1*3	雪崩：理論　ワークショップ	2	4
		雪崩：ビーコン演習・検定	2	
	Organized rescue (4) *1*2	組織救助技術実践：演習	2	5
C4 冬山検定 開催時期未定 赤岳鉱泉 （八ヶ岳） 16 時間	Mountaineering techniques in summer and winter (24) *2	冬季登山技術・検定	10	28
		アイスクライミング	6	
B4 一般座学 開催時期未定 東京 （予定） 15 時間	Children and mountains (1) *1	山中の医学：小児	1	1
	Travel Medicine (2) *1	旅行医学／国際感染症・ワクチン	2	2
	Infection control and water safety (1) *1*3	感染制御と水の安全、寄生虫	1	1
	Weather (1) *1	気象	1	1
	Death in the Mountains (1) *1	山での死	1	1
	Alpine Sports Accidents (1) *1	ボルダリング外傷	1	1
	Effects of pre-existing clinical conditions (4) *1	登山者検診ネットワーク	1	4
		山中の医学：呼吸器･循環器疾患	1	
		山中の医学： 糖尿病･代謝疾患･高齢者	1	
	§Additional topics§ Mountain animals (N/A) *1	山の有害生物：脊椎・無脊椎動物	1	1
	§Additional topics§ Mountain plants (N/A) *1	山の有害生物：植物	1	1
	§Additional topics§ Chemical gas, Lightning (N/A) *1	有害ガス・電撃・火山	1	1

	§Additional topics§ Mountaineering for female mountaineers (N/A) *1	女性・ハンディキャップ	1	1
	§Additional topics§ Current Issue of Mountain Clinic (N/A) *1	国内の山岳医療の現状とその課題	1	1
合計			121 119	

*1;theory *2;workshop *3;practical *4;discussion

- §Additional topics§ については DiMM-JP のオリジナルプログラムとなります。
- 座学は可能なものから順次 eLearning を導入します。詳細は各講習、検定募集時にお知らせします。
- 受講期間中に下記の①＋②または③を受講または更新してください。

① Basic Life Support; **BLS**

② Advanced Cardiovascular Life Support; **ACLS**

③ Immediate Cardiac Life Support; **ICLS**

- 受講に必要な最低限の登山技術

① 夏山

① ロープ、スリング、カラビナ、ハーネス、ヘルメット等の知識
② ハーネスの付け方、スリングを用いた簡易ハーネスの作り方、ハーネスへのロープの結び方
③ 支点（アンカー）の知識、作り方
④ 自己確保（セルフビレイ）
⑤ トップロープのビレー
⑥ 下降器を用いた懸垂下降
⑦ フリクションヒッチ（オートブロック、クレイムハイスト）による登高
⑧ ムンターヒッチ、ダブルエイトノット、クローブヒッチ、ダブルフィッシャーマンズノット
⑨ １：３引き上げシステム等の理解
⑩ ピッチグレード III 級程度の岩場のフォロワーとしての登攀

② 冬山

① アイゼンを用いた歩行技術
② 雪や氷を用いた支点の知識、作り方
③ 1/3 引き上げシステム等を用いたクレバスレスキューの理解
④ ビーコンとプローブを用いた雪崩埋没者の捜索及び救助
⑤ 簡単なアイスクライミングの技術
⑥ 補足：UIAA Standard の grade WI 2 とは Consistent 60°ice with possible bulges; good protection と定義されます。これは山岳地に限定されるものではありませんが、ゲレンデ（八ヶ岳ジョウゴ沢等）でのアイスクライミングの経験が求められます。

X. これまでのプログラム改定履歴

1) 2012 年の改訂点

2010 年 5 月にスタートした日本登山医学会の Diploma in Mountain Medicine は、certificate にあるように、2007 年の UIAA/ISMM/ICAR 合同会議（スコットランド Aviemore で開催）で定められた regulation に則り作成されて開始しました。

2010 年の合同会議（ペルーArequipa で開催）で新たな regulation が採択されたことを受けて、日本登山医学会のプログラムも 2012 年度からは新 regulation に基づき、さらに、それまでの２年間の実績を踏まえて、以下のように改訂し、2012 年エントリー者から適用しました。

1. 「実践山岳外傷学」クラスタを新設しました。
2. 「高所」「低体温症」「凍傷」に関する講義・実習時間を増加させせました。
3. 「遠征・野外活動医学コース（40 時間）」を国際的に対応するよう「高所登山トレッキング医学・山岳救助実践クラスタ（12 時間）」として改組しました。
4. 札幌クラスタについて、エントリー者以外の会員の聴講を認めました。

2) 2015 年の改訂点

2014 年 ISMM 会議（イタリア Borzano で開催）で新たな regulation が採択されたことを踏まえて、以下のようにプログラムを改訂し、2016 年エントリー者から適用しました。

1. 「感染制御と水の安全」、「医学研究の実行」「山中での情報伝達技術」、「スポーツと薬物使用を含む倫理学」の理論、実習、ワークショップを追加しました。
2. 「高所と高所障害」、「実践外傷学」、「野外での麻酔」、「既往疾患の影響」、「旅行医学」、「夏期および冬期の登山技術」、「即興の救助技術導入編」、「即興の救助技術の実演実習」、「組織救助」に関する講義・実習時間を増加させました。

3) 2017 年の改訂点

冬期登山技術経験が不足しているエントリー者に対しての任意講習が非公式に設定されていたこと等を踏まえ、以下のように改訂しました。

1. 冬期登山技術実技講習を任意参加プログラムとして新設しました。
2. すべての講座について、エントリー者以外の会員の受講を認めました。

4) 2018 年の改訂点

これまでの 3 回の改訂とクラスタ開催場所の変更、分割実施している同種のシラバスの内容の重複等を整理する必要が生じていたこと、実習場所での座学について、十分な資料の供給が困難なこと等を踏まえ、以下のように改訂しました。

1. 座学を夏山、冬山、一般の 3 クラスタに再編。夏山検定、冬山検定とは別に夏山演習、冬山演習を設定しました。
2. 多岐にわたる分野で講師が多数必要な座学クラスタと、ガイド協会からの派遣ガイドが多数必要な検定、演習クラスタを明確に区分し、実施場所も座学は東京または大阪、検定、演習は登山研究所または八ヶ岳に整理しました。
3. クラスタ間でシラバスの一部移動があったため、部分的な受講を必要とするエントリー者については個別に調整しました。
4. 会計事務体制の変更にともない、経費と受講料の設定をクラスタ単位ではなく山岳医事務局での一元的実施に変更。会費未納者等に対して厳正な対応を開始しました。

5) 2020 年の改訂点

1. プログラム履修時間数および内容を DiMM Regulation 2019 に即した内容に調整しました。また、DiMM Regulation 2019 で導入することとされた eLearning については順次制作し、完成した講義から提供する予定です。
2. 受講対象者を医師、看護師、救急救命士に限定しました。
3. 日本登山医学会国内認定山岳医・山岳看護師の廃止と、移行措置について記載しました。
4. 授与するアワードについて、Diploma in Mountain Medicine に統一しました。
5. 新型コロナウイルス感染症に対応する内容に一部内容を修正しました。
6. 日本登山医学会専門医（看護師）制度および国内認定資格等々に関する移行措置について追記しました。

6) 2021 年の改定

1. クラスタ名称を廃止し、“講習”、“検定”に統一しました。

新型コロナウイルス感染症蔓延に伴う

認定山岳医山岳看護師/DiMM 制度についての特例措置

新型コロナウイルス感染症蔓延に伴う講習会中止のため、下記のように特例措置を実施することになりましたのでお知らせいたします。

記

認定山岳医山岳看護師/DiMM 制度では、5 年以内にすべての講習を受講し合格することとなっています。2015 年度～2020 年度より受講開始した方については、この期限を 1 年間延長し 6 年以内に受講し合格することとします。

【現状】

2015 年度より受講開始　→　2019 年度末までに受講、合格すること
2016 年度より受講開始　→　2020 年度末までに受講、合格すること
2017 年度より受講開始　→　2021 年度末までに受講、合格すること
2018 年度より受講開始　→　2022 年度末までに受講、合格すること
2019 年度より受講開始　→　2023 年度末までに受講、合格すること
2020 年度より受講開始　→　2024 年度末までに受講、合格すること

【特例措置】

2015 年度より受講開始　→　2020 年度末までに受講、合格すること
2016 年度より受講開始　→　2021 年度末までに受講、合格すること
2017 年度より受講開始　→　2022 年度末までに受講、合格すること
2018 年度より受講開始　→　2023 年度末までに受講、合格すること
2019 年度より受講開始　→　2024 年度末までに受講、合格すること
2020 年度より受講開始　→　2025 年度末までに受講、合格すること

以上

2020 年 11 月 10 日
一般社団法人日本登山医学会
認定山岳医委員会委員長　草鹿元

Certificate for Courses in Mountain Medicine

This is to certify that the courses in Mountain Medicine organised by:

Japanese Soceity of Mountain Medicine

are in accordance with the minimum requirements of the Medical Commissions of Union Internationale Des Associations D'alpinisme (UIAA) and International Commission for Alpine Rescue (ICAR), and the International Society for Mountain Medicine (ISMM). The organisation is entitled to use the UIAA, ICAR and ISMM logos for their courses for two years from May 2010, and award the title *UIAA/ICAR/ISMM Diploma/Certificate in Mountain Medicine* to successful candidates as set out in the Diploma in Mountain Medicine regulations agreed in Aviemore, Scotland in October 2007.

Signed:

Dr Buddha Basnyat M.D. *President* *UIAA Medcom*	Dr Fidel Elsensohn M.D. *President* *ICAR Medcom*	Dr Marco Maggiorini MD *President* *ISMM*

Diploma in Mountain Medicine in Japan

DiMM 日本プログラム（DiMM-JP）作成責任者

榊原 嘉彦・金澤 英紀

一般社団法人日本登山医学会 DiMM 運営委員会

〒101-0034 東京都千代田区神田東紺屋町 36 サンハイツ神田北村ビル 507 号室

e-mail: dimm01@jsmmed.org